



GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社

2024 年 12 月期 第 2 四半期決算説明会

2024 年 8 月 8 日

イベント概要

[企業名]	GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社
[企業 ID]	3788
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2024 年 12 月期 第 2 四半期決算説明会
[決算期]	2024 年度 第 2 四半期
[日程]	2024 年 8 月 8 日
[ページ数]	27
[時間]	17:00– 17:31 (合計：31 分、登壇：24 分、質疑応答：7 分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	1 名 代表取締役 社長執行役員 青山 満 (以下、青山)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



登壇

司会：本日はお忙しい中、GMO グローバルサイン・ホールディングス 2024 年第 2 四半期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の説明会は、代表取締役青山満よりご説明させていただきます。説明終了後、質疑応答の時間を設けております。それでは、これより開始させていただきます。青山社長、お願いいたします。

会社概要

企業理念

コトをITで変えていく。

ITのチカラで私たちの身の回りで起こるコトを変えていく。便利で豊かな笑顔ある社会を広げていく。
それは未来永劫にわたる、私たちの使命です。

会社名	GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社
証券コード	3788（東証プライム）
設立	1997年5月 株式会社アイル
事業内容	電子認証・印鑑事業（電子認証、電子契約、企業向けID・パスワード管理サービス） クラウドインフラ事業（クラウド、ホスティングサービス） DX事業（O2Oアプリ、IoT関連、ネットワークエンジン）
親会社	GMOインターネットグループ株式会社（東証プライム：9449）被持株比率51.8%※ ※2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	15社 連結12社（国内5社、海外7社）非連結3社（2024年6月末現在）
パートナー数	1,013名（2024年6月末現在）※非連結先

GMOグローバルサイン+HD
#GlobalSign

映像：コトをITで変えていく。GMO グローバルサイン・ホールディングス

青山：青山でございます。本日はお忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。それでは早速、2024 年第 2 四半期の決算についてご報告申し上げます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

目次

01	2024年 第2四半期決算概要	03
02	事業概況	12
	電子認証・印鑑事業	13
	クラウドインフラ事業	22
	DX事業	24

GMOグローバルサインHD
#GlobeSign

こちらが本日のアジェンダになります。まず初めに、業績についてご報告させていただき、その後に各事業の状況についてご説明いたします。

それでは、第2四半期の決算概要についてご説明いたします。

2024年Q2 決算ハイライト

前年同期比で増収増益 目標達成ペースで進捗

重点KPI	電子印鑑なら GMOサイン	重点KPI	GMO トラスト・ログイン
売上	1.38倍	売上	1.45倍
契約件数	1.50倍	契約件数	1.29倍
送信件数	1.56倍	送信件数	1.36倍
Point 1	連結売上高は対前年比12.3%増、 連結営業利益は対前年比21.7%増	Point 2	電子認証・印鑑事業の売上高は 対前年同期比で15.6%増

GMOグローバルサインHD
#GlobeSign

まずは、第2四半期の決算ハイライトについてご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

当社の注力事業である電子印鑑、GMOサインの売上高は、前年同期比で38%増加しました。さらに、GMOトラスト・ログインの売上高も前年同期比で45%増加し、引き続き順調に事業を拡大しています。

連結業績については、連結売上高は前年同期比12.3%増収し、連結営業利益は、前年同期比21.7%増益となりました。この結果、売上および利益ともに、上期の目標を上回る成果を達成しています。また電子認証・印鑑事業においては、売上高が前年同期比で15.6%増収し、非常に順調な進捗を見せています。

2024年Q2 決算サマリー[累計比較]

・ CloudCREW、GMOサインおよびトラスト・ログインの伸長により売上高・営業利益ともに好調

(百万円)	2023年Q2実績	2024年Q2実績	前年同期比	2024年通期予想	進捗率
売上高	8,519	9,566	+12.3%	19,250	49.7%
営業利益	611	744	+21.7%	1,450	51.3%
経常利益	679	810	+19.2%	1,387	58.5%
親会社株式に帰属する 四半期純利益	410	507	+23.5%	840	60.4%
EBITDA※	872	1,122	+28.6%	-	-

※EBITDA：営業利益と減価償却費の合計値

GMOグローバルサインHD
#GMOsign

第2四半期の連結業績は、売上高が95億6,600万円、営業利益が7億4,400万円となりました。CloudCREW、GMOサイン、そしてGMOトラスト・ログインといった注力事業が伸長したことにより、前年同期に比べて増収増益となり、順調な進捗を見せています。また、通期予想に対する進捗についても、売上高の進捗率は49.7%、営業利益は51.3%と、いずれも目標を上回る好調な進捗状況となっています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



四半期売上高推移

・ 電子認証・印鑑事業が注力事業の成長により増収



続いて、売上高の四半期推移についてご説明いたします。

2024年第2四半期の売上高は48億4,500万円となり、前年同期比で13%増加し、前四半期比では2.7%増加しております。

電子認証・印鑑事業においては、SSLサーバ証明書の販売が、欧米で引き続き順調に伸びました。さらにインドなどの新興市場の成長も寄与し、売上を伸ばしました。さらに、GMOサインおよびトラスト・ログインの継続的な成長もあり、前年同期比で16%の増収となりました。

クラウドインフラ事業では、CloudCREWの販売が順調に進捗したことで、前年同期比で7.3%の増収を達成いたしました。

最後にDX事業では、アプリ事業の成長により9.4%の増収となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

四半期営業利益推移

- ・ 電子認証・印鑑事業の減価償却費が増加するも売上成長により増益



次に、営業利益の四半期推移についてご説明いたします。

第2四半期の営業利益は、前年同期比で41.1%増加し、3億2,100万円となりました。電子認証・印鑑事業においては、減価償却費の増加がありましたが、売上成長により41.1%の増益を達成いたしました。クラウドインフラ事業では、ソフトウェアのライセンス料の値上げなどの影響で売上原価が増加し、その結果として減益となりました。DX事業では、アプリ事業の売上成長と、プロモーション費用の最適化などによるコスト削減により、前年同期比で営業損失は減少いたしました。

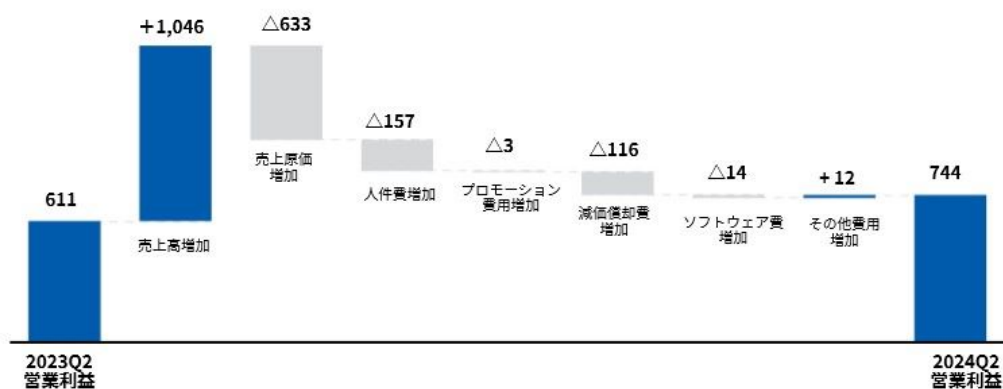
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

営業利益増減分析

・ GlobalSignの認証局新プラットフォーム開発および為替影響によるクラウドインフラのソフトウェア利用料の値上げにより売上原価が増加

(百万円)



GMOグローバルサインHD
#GlobalSign

営業利益の増減分析についてご説明いたします。

前年同期比で1億3,200万円増加し、7億4,400万円となっています。売上が約10億円成長した一方で、以下の要因によりコストも増加いたしました。

まず、GlobalSignの電子認証サービスにおいては、次の成長に向けた認証局のシステム開発のため、減価償却費が増加いたしました。また、クラウドインフラ事業のホスティングサービスでは、ソフトウェア利用料の値上げがあり、それにより売上原価が増加しております。これらの要因を踏まえつつ、売上成長により全体として、前年同期比で営業利益が1億3,200万円増加する結果となりました。

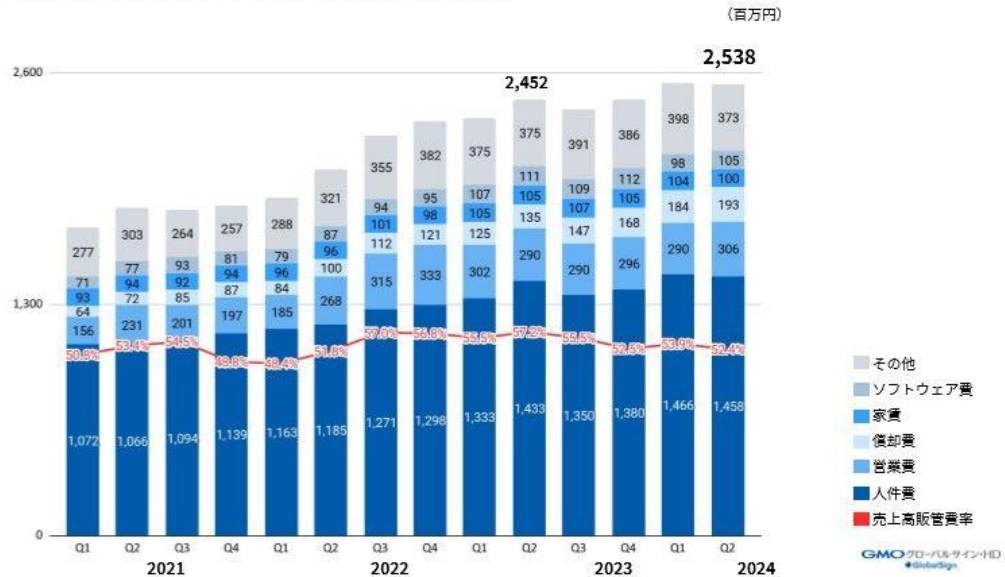
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

販売管理費及び一般管理費の四半期推移

・ 次の成長に向けた認証局の開発投資により減価償却費が増加傾向



次に、販管費の四半期推移についてご説明いたします。

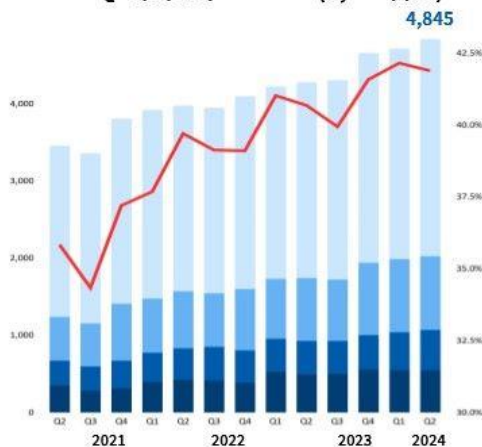
営業費に関しては、前期より微増しておりますが、ほぼ同程度で推移しております。一方で減価償却費につきましては、GlobalSignの認証局システムの開発により増加しております。この減価償却費の増加は、将来の成長を見据えた投資の一環と位置付けております。

グローバル拠点別推移

・ 国内・海外ともに売上好調推移。国内注力事業の伸長により海外売上高比率は減少

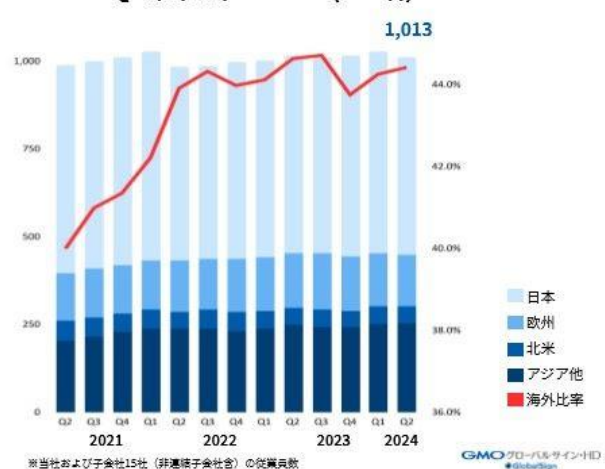
売上高
(百万円)

2024Q2海外比率 41.9%(2,030百万)



パートナー(従業員)数※
(名)

2024Q2海外比率 44.4%(450名)



サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



決算概要の最後は、拠点別の連結売上高と、全パートナー数の推移についてでございます。

売上高は、国内・海外ともに順調に成長しております。特に前年同期比では、欧米における SSL 売上の回復により、海外比率が 1.2 ポイント増加いたしました。一方、前四半期比では、GMO サインや CloudCREW などの国内注力事業の伸長により、海外比率は 0.3 ポイント減少しております。

次に、パートナー数の海外比率についてです。主にインドとドバイにおいて増加しておりますが、欧州での減少により、前年同期比で 0.2 ポイント減少いたしました。しかし、インドでの増員が継続しておりますため、前四半期比では 0.1 ポイント増加いたしました。以上が、売上高およびパートナー数の拠点別推移になります。

ここからは、各セグメントの事業についてご説明いたします。

電子認証・印鑑事業

電子認証局の技術・ノウハウを生かしたサービス群



インターネットの身元証明機関 電子認証局 を自社運営

- SSLシェア 国内No.1、世界No.3



立会人型・当事者型すべての署名を提供する電子契約サービス

- 導入企業数 国内 No.1
- 契約送信件数 国内 No.1



シングルサインオンサービス

- 導入企業数 国内No.1
- 連携アプリ数 国内No.1



まずは、電子認証・印鑑事業でございます。当セグメントのサービス概要はご覧のとおりです。

当社は、自社保有の電子認証局の技術とノウハウを強みに、さまざまなサービスを展開しております。GlobalSign は、SSL サーバ証明書で国内シェア No.1、GMO サインは契約社数、送信件数で国内 No.1、トラスト・ログインは導入企業数、連携アプリ数で国内 No.1 となっております。

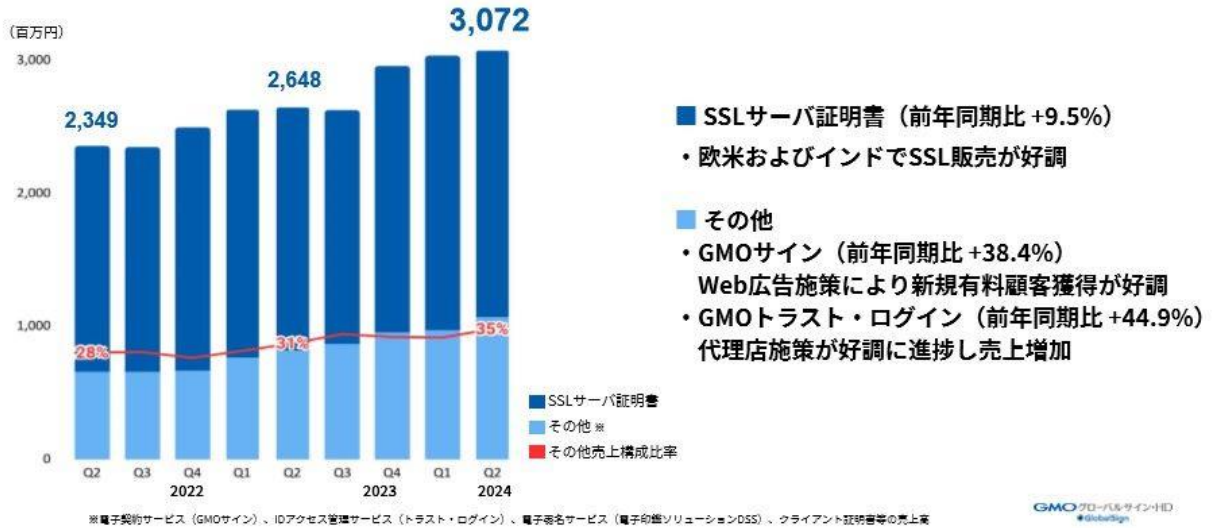
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



商材別四半期売上推移

・SSLサーバ証明書は新興市場で売上成長。GMOサイン、トラストログインは引き続き高成長を継続。



電子認証・印鑑事業の商材別売上の推移についてご説明いたします。

第2四半期においてSSLの売上高は、欧米およびインドなどの新興市場で売上を伸ばしたことから、前年同期比で9.5%増加いたしました。

次に、電子署名およびその他の売上についてです。GMOサインは、主にWeb広告施策の効果により、新規有料顧客の獲得が好調に進み、前年同期比で38%増加いたしました。またGMOトラスト・ログインにおいても、代理店戦力の強化が功を奏し、売上が前年同期比で44%増加いたしました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

成長市場へ地理的拡大を推進

- **メキシコ市場での展開を開始**
パートナー企業を通じて、メキシコ国内企業へGlobalSign製品を販売
- **インドにおける販売が拡大**
市場の成長にともないSSL販売が順調に増加

GMOグローバルサイン(株)
GlobalSign

次に、GlobalSign の成長に向けた取り組みの状況についてご説明いたします。

電子認証事業では、SSL サーバ証明書の成長を着実に継続させるため、グローバル展開の強化を図っております。その一環として、7月にメキシコ市場における電子証明書の販売を開始いたしました。2021年にブラジルでの事業展開を開始し、メキシコはそれに次ぐ重要な市場と位置付けております。今後も着実にシェアを高めていく考えです。

また、インドでの販売も拡大しており、順調に成長を続けております。非連結ではありますが、ドバイも好調に売上を伸ばしており、市場の成長に伴って、グローバルサウスでの拡大も順調です。これらの成長市場への地理的な拡大は、持続的な事業成長において極めて重要と考えております。引き続き、グローバルでの事業展開を積極的に推進し、持続的な事業成長を目指してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

次の成長の柱を創出すべくIoT分野への投資を推進

- wolfSSLと協業し、IoTセキュリティソリューションをリリース



- Japan Drone 2024に出展。
3日間で約4,000人のお客様が来場



GMOグローバルサイン(株)
#GlobalSign

続いて、長期的な成長に向けた取り組みについてご説明いたします。

まず、2024年6月に開始した wolfSSL との協業についてご説明いたします。wolfSSL は、電子証明書を用いた暗号化通信を軽量化するサービスを提供しています。ドローンをはじめ、IoT 機器はコンパクトで軽量の設計が求められますが、このサービスとの連携により、IoT 機器の限られたリソースの中で、必要なセキュリティ機能をしっかりと簡単に実装できるようになります。これにより、IoT 分野への電子証明書提供のビジネスチャンスを逃すことなく、進めてまいりたいと考えております。

また、6月5日から7日の3日間、国内最大級のドローンの国際展示会 Japan Drone、次世代エアモビリティ EXPO 2024 に出展いたしました。GMO ブースには、3日間で約 4,000 人のお客様にご来場いただきました。GlobalSign の認証技術を生かしたセキュリティによって、ドローン・空飛ぶクルマが安全に運用されている様子を来場者の皆様に体感していただきましたので、その様子をご覧ください。

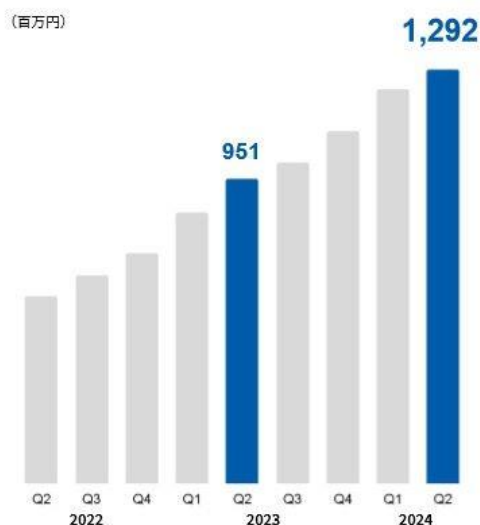
映像：これより渋谷セルリアンタワーを離陸いたします。当機は、GMO グローバルサインにより通信の暗号化とアクセス認証が行われています。GMO サイバーセキュリティ by イエラエの脆弱性診断によって、既知の脆弱性に対応していることも確認されています。当機は GMO グローバルサインの電子認証技術により、強固な認証と通信内容の暗号化を行っており、なりすましアクセスや、通信の盗聴を防いでいます。まもなく用賀、GMO インターネット TOWER に到着いたします

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

す。3分間の空の旅、お疲れ様でした。着陸しましたら、お気をつけてご降車ください。当機による空の旅を体験いただき、誠にありがとうございました。

電子印鑑GMOサインのARR推移[※]



新規有料契約が目標を上回る進捗
ARRは着実に増加

前年同期比
+35.9%

※ Annual Recurring Revenue の略称。当四半期より算出方法を変更し、各四半期の平均売上（一時収益を含まない）を12倍して算出。

GMOグローバルサインHD
#GMOsign

青山：次に、電子印鑑 GMO サインの状況についてご説明いたします。

まずは、KPI の推移です。契約社数の推移においては、前年同期比で 50.3%増加し、220 万 5,000 社となりました。引き続き、国内の電子契約サービスで No.1 となっております。有料契約数についても、継続して取り組んでいる Web 広告施策や、有料化施策の効果により順調に伸び、前年同期比で 42.1%の増加となっております。さらに送信件数の推移についても、前年同期比で 55.9%増加し、非常に高い成長を示しております。これらの KPI の状況は、GMO サインが市場で確かな地位と、大きな成長ポテンシャルを持っていることを示しております。

次に、GMO サインの ARR の推移についてご説明いたします。先ほどご紹介しました KPI が順調に進捗した結果、ARR は前年同期比で 35.9%増加し、好調な成長となっております。特に継続して取り組んでいる有料化キャンペーン施策や、Web 広告施策による認知度向上の効果により、新規有料契約が目標を上回る進捗を見せております。これが売上成長をけん引しております。以上が、GMO サインの ARR 推移についてのご説明です。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

契約企業（一部抜粋）

GMOグローバルサイン・HD
#GlobeSign

こちらは、導入企業の一覧です。有料契約を締結した企業のうち、掲載許可を得た企業のみを掲載させていただいております。足元でも引き続き多くの大企業が新たに導入を進めている状況です。また、みずほ銀行様や大手食品メーカー様などにおいて、グループ会社への導入も進むなど、エンタープライズへの導入も順調に推移しております。今後も引き続き、さまざまな企業様にご満足いただけるサービスを提供し、さらなる市場拡大を目指してまいります。

協業によりGMOサイン電子公印の自治体導入を強化※

業界で唯一、オンライン型の電子公印サービスを提供する「GMOサイン電子公印」自治体向け文書管理システムを手がける大手企業との協業を推進



※ GMOサイン電子公印とは、自治体が発行する道路の通行許可や補助金の決定通知などの「処分通知」の発行から交付までを電子化するサービス。
https://www.gmosign.com/e_delivery/

GMOグローバルサイン・HD
#GlobeSign

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

最後に、GMOサインの成長に向けた自治体 DX の取り組みについてご紹介いたします。

一つ目は、デジタルガバメント領域における、協業推進の取り組みについてです。

GMOサイン電子公印は、自治体が発行する道路の通行許可や、補助金の決定通知などの処分通知を電子化するオンライン型サービスであり、この形式のサービスを提供しているのは、この業界では当社が唯一となります。

そういった状況の中で、5月に協業を開始しました NEC 様をはじめ、内田洋行様、富士電機様など、既に全国多数の自治体に対して文書管理システムを導入している大手企業との協業を図ることで、これらの文書管理システムに GMOサイン電子公印を連携させ、全国の自治体の業務効率化や、ペーパーレス化を支援してまいります。

処分通知電子化の大きな特徴は、契約書に比べて、処分通知が日常的に発行されるものであることです。そのため発行件数は、契約書の数倍、数十倍、数百倍となり、電子化による業務改善効果が大変高くなります。また、従量売上の元となる契約送信件数にも寄与することとなります。現在総務省では、自治体 DX 推進の目標期限を 2025 年と定めておりますので、この機運の高まりを確実に捉え、導入拡大を図ってまいります。

電子認証・印鑑事業 成長に向けた取り組み

電子印鑑なら
GMOサイン

セキュリティを強みにGMOサイン電子公印を推進

業界で唯一、自治体が重視するセキュリティ認証をすべて取得

セキュリティ認証名	電子印鑑GMOサイン
SOC2 Type1 (特定時点のセキュリティ評価に関する監査報告書)	○
SOC2 Type2 (特定期間のセキュリティ評価に関する監査報告書)	○
ISMAP (政府情報システムのためのセキュリティ評価制度)	○
令和2年改正建設業法規制におけるグレーゾーン解消制度の回答取得	○
LGWAN対応 (行政専用の閉域ネットワークに対応)	○

GMOグローバルサイン+ID
#GlobeSign

二つ目は、セキュリティ強化の取り組みについてです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

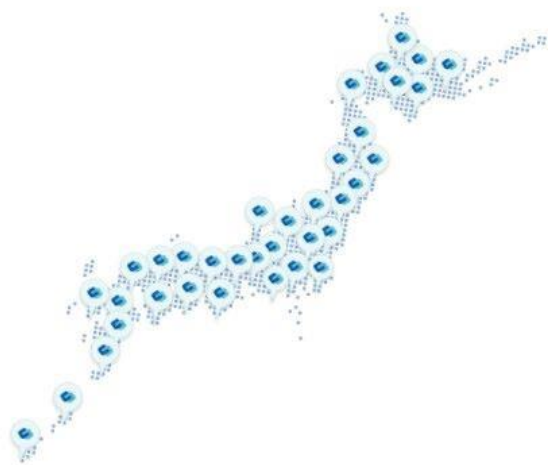
GMOサインは2024年6月に、セキュリティに関する国際基準を満たすサービスであることを認証する、SOC2 Type2 保証報告書を取得いたしました。さらに7月には、日本政府が定めるセキュリティ認証である ISMAP も取得いたしました。これにより当社は、業界で唯一自治体が重視する全てのセキュリティ認証を取得したこととなり、競合他社に対して優位性を持つ自治体 DX を推進してまいります。

これらの取り組みによって、より多くの自治体や企業に対し、信頼性の高いセキュリティ環境を提供し、サービスの導入を推進することが可能となります。今後もセキュリティ対策を徹底し、信頼されるサービスの提供に努めてまいります。

電子認証・印鑑事業

電子印鑑なら
GMOサイン

セキュリティと協業の強化で自治体導入でもNo.1へ



122の自治体へ導入が決定※

導入自治体 (一部抜粋)

東京都	神奈川県	群馬県	北海道
静岡県	山口県	大分県	
東京都 渋谷区	東京都 足立区	福岡県 福岡市	福岡県 北九州市
愛知県 名古屋市	愛知県 豊田市	愛知県 知多市	神奈川県 川崎市
神奈川県 横浜翼市	神奈川県 茅ヶ崎市	大阪府 東大阪市	大阪府 豊中市
大阪府 枚方市	大阪府 四条畷市	大阪府 寝屋川市	大阪府 大阪狭山市
大阪府 門真市	大阪府 泉佐野市	大阪府 八尾市	大阪府 河内長野市
大阪府 堺市	大阪府 吹田市	大阪府 富田林市	大阪府 羽曳野市
大阪府 箕面市	大阪府 岸和田市	大阪府 茨木市	大阪府 岬町
大阪府 和泉市	大阪府 忠岡市	大阪府 高槻市	大阪府 守口市
大阪府 池田市	鹿児島県 奄美市	三重県 いなべ市	新潟県 三条市
福井県 坂井市	兵庫県 たつの市	兵庫県 宍粟市	滋賀県 長浜市
広島県 三原市	福島県 郡山市	福島県 いわき市	岩手県 北上市

※7月30日時点で「電子印鑑GMOサイン」または「GMOサイン電子公印」を寄託契約している公共団体

GMOグローバルサイン(株)
#GlobeSign

続いて、自治体への導入状況についてご説明いたします。

現時点で、GMOサインの自治体導入数は122件となりました。またGMOサイン電子公印についても、既に9件の導入が決定しております。GMOサイン電子公印については、プロダクトとセキュリティ強化により競合他社に対する優位性を確立しており、協業による販売強化も進めております。これにより、今後さらに自治体への認知を広げ、導入を拡大してまいります。これらの取り組みによって、多くの自治体を持つ課題を解決し、デジタル化の推進を支援することを目指します。

以上が、自治体DXの取り組みの状況についてのご説明となります。引き続き、多くの自治体に信頼されるソリューションを提供することで、導入数でもNo.1となり、事業の成長を図ってまいります。

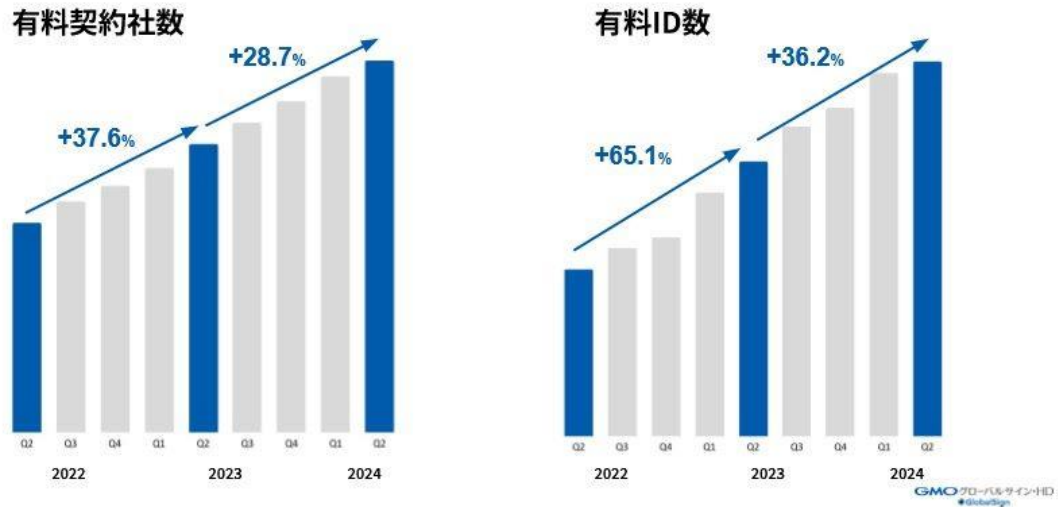
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

GMOトラスト・ログインのKPI推移

・代理店施策の効果によりKPIが好調、結果として売上高は前年同期比45%増加



電子認証・印鑑事業の最後に、トラスト・ログインの状況についてご説明いたします。

昨年より取り組んでおります代理店施策の強化により、重要 KPI である有料契約社数は、前年同期比で 28.7%増加し、有料 ID 数も 36.2%増加いたしました。これにより、順調にサービスの拡大が進んでおります。その結果、売上高は前年同期比で 45%増加し、好調な成長を見せております。今後は協業の強化、新サービスの提供およびカスタマーサクセスの強化を通じて、さらなる売上拡大を目指してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

契約企業（一部抜粋）



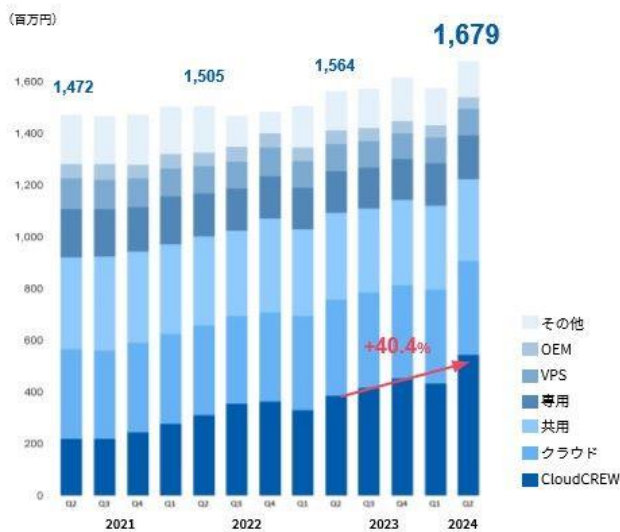
GMOグローバルサイン+ID
#GlobeSign

こちらは、トラスト・ログインの導入企業の一例でございます。大手顧客を中心に、幅広く導入いただいております。引き続き、さまざまな施策を強化し、事業の成長を促進してまいります。

クラウドインフラ事業

商材別四半期売上推移

・クラウド市場の成長にともない、CloudCREW byGMOの販売が順調に進捗



2024年 Q2

売上高： **542**百万円

前年同期比： **+40.4%**

2024年 Q2（累計）

売上高：973百万円 前年同期比：+36.0%

GMOグローバルサイン+ID
#GlobeSign

続いて、クラウドインフラ事業についてご説明いたします。

クラウドインフラ事業における、商材別の四半期売上の推移についてご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



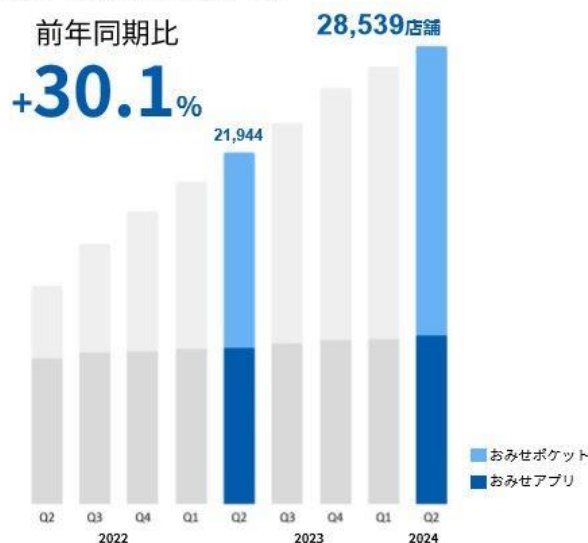
第2四半期の売上高は、事業全体で前年同期比7.3%増加いたしました。この中で、特にCloudCREWに関しては、売上が前年同期比40.4%増の5億4,200万円と、引き続き好調な成長を見せています。またCloudCREWの第2四半期までの累計売上高は、前年同期比36%増の9億7,300万円となり、目標を上回る順調な進捗となっております。

現在、AWSの最上位認定取得を目指して組織強化を進めており、さらなる事業拡大を図る考えです。クラウドインフラ事業においても、今後もCloudCREWによる売上成長と、既存サービスのコスト最適化に努めてまいります。引き続き事業の成長を目指し、さまざまな施策に取り組んでまいります。

DX事業

GMO おみせアプリ

導入店舗数推移



モバイル商品券プラットフォーム by GMO

自治体DXの機運高まりにともない導入拡大

導入事例 (一部抜粋)



GMOグローバルサイン(株)
#GlobeSign

最後に、DX事業について説明させていただきます。

最初に、アプリ事業の状況についてご説明いたします。

GMO おみせアプリの導入店舗数は、協業サービス、おみせポケットと合計で前年同期比30.1%増加し、2万8,539件となりました。また売上においても、おみせアプリおよびおみせポケットの成長がけん引しております。最近では、GMO ペイメントゲートウェイ社との協業サービスであるモバイル商品券プラットフォームも、自治体DXの機運の高まりを背景に導入を拡大しております。引き続き、グループのシナジー効果を生かした協業サービスを中心に、新たなサービスの創出と売上成長を目指してまいります。今後も各種施策を積極的に推進し、事業のさらなる成長を図ってまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

AI画像認識でメーター点検業務をDX化

AIを利用してメーター読み取り、誤検針の防止とペーパーレス化を実現する
メーター検針・点検の業務改善サービス



GMOグローバルサイン+ID
#GlobeSign

続いて、DX 事業における AI 分野での投資事業である、hakarai.ai についてご説明いたします。

hakarai.ai は、AI を活用して高い精度でメーターを読み取り、製造業などにおける従来の目視、手書きによるメーター点検業務をデジタル化、ペーパーレス化するサービスです。

料金モデルは、月額固定のシステム利用料に加え、登録メーター数に応じて課金する従量課金型を採用しており、大規模な初期投資をすることなく、アナログな点検業務を簡単に DX 化できるサービスとなっております。これにより業務負担を軽減し、ミスの削減および業務効率の向上を図ることができます。特に製造業を中心に、多くの企業にとって大きな価値を提供できると考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

導入実績

- ・大規模投資が不要なAI技術活用で、国内大手製造業とビル管理会社を中心に導入拡大



2019年に事業を開始して以来、おかげさまでhakar.aiは、国内の大手製造業様やビル管理会社様で、多数の導入をいただけるようになっております。今年3月には、読み取り精度をさらに向上させた新しいAIモデルを公開し、機能を刷新することで、さらに多くの顧客にご利用いただけるよう推進しております。この新AIモデルにより、従来以上の高精度なメーター読み取りが可能となり、さらに幅広い業種や用途での利用が期待されております。

ロボットおよびドローンなどに連携しAI画像解析で貢献



サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

さらに今後、グループを挙げて取り組んでいる AI 事業においても、当社の AI 画像解析技術を提供してまいります。例えば、自律走行が可能な業務ロボットや、ドローンの目に hakaru.ai のセンサーを取り付けることで、データ収集や分析、危険な作業の代行など、産業用途での活用に貢献してまいります。

具体的な取り組みはこれからですが、AI 分野における参入可能な領域の調査と開発を続け、新規サービスを生み出すことで、当社は AI 分野においても付加価値を提供し、持続的な事業拡大と企業価値の向上を図ってまいります。

以上が、AI 分野における今後の取り組みについてのご説明です。引き続き、技術革新と新たな市場開拓を推進し、事業成長を目指してまいります。

コトをITで変えていく。



GMO グローバルサイン・HD
#GlobalSign

映像：コトを IT で変えていく。GMO グローバルサイン・ホールディングス

青山：私からの説明は以上になります。コトを IT で変えていく。GMO グローバルサイン・ホールディングスを、引き続きよろしく願いたします。ご清聴、ありがとうございました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



質疑応答

司会 [M]：続きまして、質疑応答に移らせていただきます。ウェビナーにご参加の皆様の質問を受けいたします。

[Q]：いつもありがとうございます。二つお願いします。一つ目は営業利益に関して伺います。上期結構増益していきまして、ただ今回、上期中心の利益計画だったので、本当にインラインの実績だったのではないかなと思っています。今回の上期の営業利益着地のセグメント別のご評価をください。1点目です。

青山 [A]：ご質問ありがとうございます。セグメント別ですが、全体的にはほぼ計画通りで進捗しております。唯一少しずれておりますのが、クラウドインフラ事業で、海外からのライセンスの、VMware 社になりますが、大幅な値上げがございました。この影響が、この第2クォーター発生しております。ただ、こちらについてはシステムの構成の見直し、ならびにお客様へのサービスの価格の見直しなども含めまして、この第3クォーターからは、全て元通りに解消する予定でございます。以上がご質問に対するご回答となります。

[Q]：ありがとうございます。二つ目は、GMOサインに関してですが、競争状況について伺います。このクォーターも本当に堅調に伸びていて、連結ではプロモーションコストが QonQ で上がっているの、プロモーションを踏んで、勝ちにいったと見えるのですけれども、このGMOサインの競争状況ですとか、またはどこのアカウントを中心に伸びているかなど、競争状況を教えてください。以上です。

青山 [A]：はい、ありがとうございます。GMOサインの足元の状況ですが、全体的にこの1年前と比べると、有料でのお申し込みのお客様が増えているということと、それから、お問い合わせから課金開始になるまでの期間が短くなっていると、これが全体的に好調な要因、好調のポイントになります。ただ、やはり課金開始させていただいても、会社全体のこの導入っていうのは時間がかかっている状況ありますので、ここは私どものカスタマーサクセス部門が、お客様に対する導入支援をさせていただくことで、より早くお客様の課金をスムーズに上げていただくと、この辺をやっております。

競合会社様との状況ですけれども、まず従来から比べると、私どもへシステムを載せ替えていただいているケースがあります。これは国内、海外の事業者様ともですね、そういったケースが目立って

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



きている、特に大規模なお客様の移転が少しずつ増えているのかなど。これは一つは、特に海外の会社様ですけれども、コストが私どものほうが安いといったことが挙げられると思っています。

それから自治体様向けに関して言うと、私どものサービス、GMOサイン電子公印ですが、最近名称変更しまして、以前はGMOサイン電子交付というサービス名でございました。こちらに関しては、唯一私どもが国内でやっているということ。さらに先ほどの説明にもありましたけれども、既に自治体様にシステムを導入されている企業様とのシステム連携によって、この引き合いが今非常に伸びておりまして、まだ実際に課金が始まっている自治体様、数少ないんですけれども、ただ引き合いは非常に好調であるという状況でございます。以上となります。

[Q]：ありがとうございます。そうすると、海外の電子契約ベンダーからは普通に価格の安さで取られていて、国内に関しては、その自治体向けで堅調されている、そういった両方に対して非常に強く出ているという、そういう状況と理解して宜しいでしょうか。

青山 [A]：はい、そのとおりです。

[M]：以上です。ありがとうございました。

青山 [M]：ありがとうございました。

それでは他にご質問がないようですので、こちらで質疑応答を終了させていただきます。

以上をもちまして、決算説明会を終了させていただきます。本日はご参加いただき、ありがとうございました。

青山 [M]：ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

